

Dear 地球民

第 31 号
2008年3月発行

編集発行
〒259-0303

ゆがわら国際交流協会
神奈川県足柄下郡湯河原町土肥1-7-1
湯河原町商工会内 Tel.0465-63-0111



20周年記念式典

2007年8月5日、猛暑の中、20周年記念式典が湯河原町役場にて多くの列席者をお迎えして、執り行われました。

会長からは、多くの皆様の“熱い協力”があったからこそ、20周年を迎えられた事に謝辞が述べられました。

また、来賓の方々からも、次世代を担う子供たちに、ホームステイ交流を通して、人と人との相互理解を学び、世界平和の為に貢献できる、本当の国際人になって貰いたいという、“熱いメッセージ”が贈られました。



感謝状贈呈

【協会運営に尽力された方】

ゆがわら国際交流協会第二代会長 高橋賢次

【ご協力頂いた機関、団体】

醍醐院、湯河原駅、海の家黒潮

式典に於いて、国際交流に貢献されました方々及び団体に感謝状と記念品を贈呈いたしました。

(順不同、敬称略)

【永年、留学生を紹介して頂いた機関】

JET日本語学校、文化外国語専門学校、東京外国語専門学校、日本ブラジル交流協会、日独協会、桜美林大学、あしなが育英会

【永年、ご協力して頂いたホストファミリー】

秋山こず枝、露木芳江、田代広伸、前田正義、杉山由佑子、服部一男、中村てる子、山田明美、伊藤公洋、瀬野由紀、茂田富士松、柳沢かおり、早藤早苗、鳥光弘孝、高橋三好、長谷川弘治、棚橋芳夫、浜野ゆかり、尖秀雄、鈴木孝芳、岩倉崇徳、平野真琴、善本真人、嶋岡浩二、福田宗徳、金井文江、杉山里美



世界屋台村



おいしそうね！私にも頂戴♪



早くしないと売り切れちゃうよ！！



アンニョンハセヨ～



ホップステップジャンピン“グ～”



心に響く曲をありがとう



月が出た出た♪

20周年を祝って

式典終了後、20周年を祝って、湯河原三曲会の成次会長、安藤ご夫妻、杉本氏の4名による、箏・尺八での六段・新高砂など5曲が演奏されました。留学生の皆さんは、日本の文化に触れ心に残る演奏会となりました。



第22回やっさ国際交流



ジェフ・ウォルシュ (カナダ)
亀田ファミリー



セバスチャン・シュミット (カナダ)
古川ファミリー



ブライアン・ラー (アメリカ)
橋本ファミリー



尹太鉉 (韓国)
高野ファミリー



金喜謙 (韓国)
田代ファミリー



陳敏琪 (香港)
青木ファミリー



陳雅媛 (香港)
丸山ファミリー



クロントーン・ラオパーソコ (タイ)
松本ファミリー



ニサー・ムアンスイー (タイ)
渡辺ファミリー



バムルン・ジューラーワン (タイ)
善本ファミリー



呂海彤 (台湾)
奥津ファミリー



洪希姪 (韓国)
佐々木ファミリー



孫有利 (韓国)
露木ファミリー



紀榮忠 (台湾)
宮地ファミリー



呉宇珊 (台湾)
杉山ファミリー



施奕安 (台湾)
棚橋ファミリー



呂海茜 (台湾)
前田ファミリー



レイズ・クリスティーナ・バトサ (フィリピン)
脇山ファミリー



ナタリア・シフエンテス・エストラーダ (ペルー)
山田ファミリー



ガニコ・シルビア・ロシオ・マツムラ (ブラジル)
鳥光ファミリー



ハイメ・ヘロディヤス・ジュニア (フィリピン)
呉龍昌 (台湾) 早藤ファミリー



私たちの生け花、どんだけ～！
(7月31日醍醐院にて華道体験)



おらに地球の元気を・・・いいとも！
(8月1日独歩の湯にて)



お箸使うのムズカシヨ～
(8月1日幕山公園にて)



お寺をバックにハイチーズ☆
(7月31日醍醐院にて)



いざ出陣！でもそんなの関係ね～
(8月2日やっさ祭り)



やっさやっさ～、はいっオッパッピー
(8月2日やっさ祭)



19年度語学講座

初級英会話講座

白井ベティ先生

平成19年9月10日～10月29日（全8回）

場所：湯河原町役場分庁舎 受講生：12名

英会話講座に参加して

今回、初めて英会話講座に参加させていただきました。最初のうちは、学校でも習っていないような単語がたくさん出て来て、皆さんが話している事もあまり分かりませんでした。でも日常会話などでよく使う単語などを教えて頂いたので、覚えやすくとともに役に立ちました。

普段ではあまり接する機会のないような年代の方々と一緒に勉強出来て良い経験になりました。

また機会がありましたら参加させて頂きたいです。
(柏木遙)

英会話の講座に参加

私は日頃英会話が出来たらいいなあと思っていましたが、英会話学校に通う勇氣もありません。ところがたまたま町の広報誌で英会話講座があることを知り、早速連絡をさせて頂き参加しました。

学校を卒業してから何十年も経っているので、頭も堅くなって、覚えるより忘れる方が早いのですが、講師のベティ先生、ゆかりさんに励まされ最後まで続ける事が出来ました。

毎年ハワイに行っているのですが、日本語で通していました。でも来年は少しでも英語で話すつもりです。
(野口利子)



国内外親善交流フェア

湯河原町商工会主催による産業祭での「国内外親善交流フェア」に参加し、タイカレー・ブラジルコーヒー・ポップコーンの販売と、ゆがわら国際交流協会のPRを行なった。

日時：平成19年10月28日（日）

場所：湯河原海浜公園



中級英会話講座

ポール・トンプソン先生

平成19年9月10日～10月29日（全8回）

場所：湯河原町役場分庁舎 受講生：12名

中級英会話講座

現役時代、20年以上も海外に勤務したにも拘わらず、リタイア後すっかりご無沙汰してしまった英会話に磨きを掛けるべく、年甲斐もなくこのクラスに参加させて頂いた。

最近、年のせいで、やや耳が遠くなってきたため、先生や生徒の皆さんにご迷惑を掛けてしまったのでは、と心苦しい。出席する生徒は毎週10名程度。家庭の主婦の方々の参加が多く、積極的に発言する姿は非常に印象的。その一方で若い人の参加が少なかったのはちょっと残念な気がする。先生はユーモアを交えながらも生徒の言葉に最後まで我慢強く耳を貸して授業を進める。このクラスでは、授業中は日本語を一切使うことは出来ない。だから英語の意味を先生に質問されても、英語で説明せざるを得ないのだ。これは、生徒に飽くまでも“英語”で考えさせ、“英語”で表現させようとする、オーストラリア出身のポール・トンプソン氏の考え方—教育方針—である、と見た。外国語の会話に上達するには、このように“外国語漬け”になることが最も効果的で、最も早道であることを再認識させられる。

(1964年に、通訳免許を取得した時のことを思い出す。)

今回のテーマは、中級にふさわしい“日常生活”（挨拶、ショッピング、健康・病気等）であったが、将来は、単発のコースの連続ではなく、より体系的なプログラムで、テーマも時事問題、政治・経済問題あるいは文化問題へと発展させて行っても面白いのでは、と考える。

貴重な体験を有難うございました。

(長谷川正峰)



ポースティーンズ市中学生派遣事業を終えて

1999年、湯河原町と姉妹都市提携したオーストラリア・ポースティーンズ市へ、本年度も6名の中学生及び随行として中学校英語科の先生の計7名が訪問し親善を深めました。同行下さいました片倉先生の報告書から一部抜粋して掲載いたします。

なお8月16日に開催された出発式には、早藤会長が出席し、派遣生徒を激励しました。

今回で3回目の渡豪となったが、まずはこの様な素晴らしい機会を与えて下さった方々に感謝します。

引率した6名は、非常に個性的で、物怖じせず、多少英語が分からなくても、何か伝えたいことがあれば何とか相手に分かってもらおうと努力をし、その姿を見て、相手も分かってあげようとさらに耳を傾ける。そんな場合が多く見られた。これがこの派遣研修の一番大切とする部分だろうと感じた。

生徒達は様々な経験をすることができた。私はそのサポートとして一緒に時間を過ごしてきたが、そのなかで感じできたことや来年度以降の参考となるような事を報告する。

まず日豪間での打ち合わせがもう少し明確に出来るとよいと思った。しかしながら、メールを使ってのやり取り、また直前にならないとはっきりしない内容（ホストファミリーの選定）などで時間も手間もかかり非常に厳しいものであることが分かった。

二つ目に、現地の学校に通う期間がもう少し長いとさらに充実した研修になるのではないかと。生徒達ももっと学校に行きたいということであった。しかし、ポースティーンズ市の側からすると1週間（実質5日間）が妥当な期間であると考えているようであった。

ポースティーンズ市の要望としては、来年は6～7月、10～11月あたりがいいのではないかと。

ということ。また2～3年に1度でかまわないので、日本側から大人が訪問することなどが挙げられた。

これらの解決は難しいと思われるが、来年度は10周年ということでもあり、大々的には行かなくても、随行に役場の担当を入れ、担当者同士のパイプを太くし、今後さらにより研修になるよう願っています。

(湯河原中学英語科教諭 片倉孝裕)



地球市民フェスタ

地球市民フェスタ実行委員会・小田原市主催による第12回地球市民フェスタが開催され、資料の展示および協会紹介DVDの放映等を行った。当協会からは早藤会長と木村さんが参加した。

日時：平成20年2月10日

場所：川東タウンセンター マロニエ

クリスマスパーティー

ゆがわら童夢にて、クリスマスパーティーが開催され、当日はビンゴ大会やチャリティーオークションなど楽しい一時を過ごした。

日時：平成19年12月22日

場所：ゆがわら童夢

参加者：大人45名、子供26名、幼児3名 合計84名

オークション売上：50,400円

恋人のDV問題

携帯電話の普及は想像を絶する勢いで普及している。電車の中では、若者の全員が使用していると言っても過言ではない。無言で、誰にも干渉されず、電源を切るよう注意されているのに、通信内容を見るだけなら、許されるとも思っているのだろうか。

普及率は保々100%近いのではないだろうか。私も持っているが、電話連絡だけしか使えない。現在の携帯電話には、驚くほどの機能が整っているようだ。毎月の基本使用料は同じなのだ。ところが、隠された、深刻な問題が起こっているらしい。

恋人どうしの中で、恐るべき事態が起こっているのだ。アウェア(Aware)(気付く)デート防止DVプログラムという名の暴力防止のことだ。

DVという言葉の意味は、夫、恋人からの暴力防止つまりドメスティックバイオレンスを意味する言葉だ。何も英語で言わなくても良いと思うのだが、現在はDVと言えば、暴力と言う言葉に置き換えられるほど、日本語化したようだ。

さて、暴力の具体的な例は、(1) 身体的暴力；小突く、殴る；ける；物を投げる；刃物などの凶器を突きつける。(2) 性的暴力；避妊に協力しない性行為の強要や暴力的な性行為；見たくないのにポルノビデオを見せる。(3) 精神的暴力；脅かしたり、大声でどなる；人前

で馬鹿にする；発言権を与えなかったり；何を言っても無視する；外出を禁止する；交友関係を制限・監視する・電話やメールなどをチェックする；(4) 経済的暴力；生活費を出さない；お金を自由にさせない；働くことを妨害する；(5) 子供を巻き込んだ暴力；子供を危険な目に遭わせる；子供に暴力を振るう；子供を虐待する；

アベックが手をつないで街を歩いている姿は、平和的で、良い雰囲気醸し出しているが、DVの根は十代の経験にさかのぼることがある。この時期から人との深い関わりを経験し始める。相手を支配することと愛情は違うことや、お互いを理解し、尊重し合うこと、男らしさ女らしさの押し付けをして、極端な誤解を生むことが多いらしい。現在どこにいるのだ、現在誰と話をしているのかとか、初めは愛情があるからと誤解しやすい。実は監視下に置くという暴力的な行為になりやすい。あまりにもしつこい電話があるので、母親に相談して、これが暴力だと判断できるケースなどがあるらしい。

電話番号を消されたり、朝晩電話がかかってきたり、携帯電話も完全に暴力行為に変わることがあるので、近代化も考えさせられるし、案外迷惑な場合が多いのだ。あな；恐ろしい哉； (石井立夫)

晩秋の池峰へ



協会有志が初の企画として、池峯「もみじの里」へのハイキングを計画してくれました。11月25日小春日和。フィリピンからの農業研修生ジェームス君を含め、老若男女9名が集まりました。伊藤公洋さんの案内で「ままねの湯

裏手の細道を上り、安井曾太郎アトリエ跡、万葉郷を抜け、陽光に紅葉まばゆい池峯までは1時間強の道のり。途中、ドングリや野いちごが目に楽しく、澄んだ空気にも心も晴れます。行き交うハイカーが皆声を掛けてくれるのも嬉しいです。ベンチが整備された池峯の広場で、紅葉に見下ろされてのお弁当タイムは最高でした。湯河原にこんな素敵な場所があったなんて！ 皆さんも是非訪ねてください。

(山中恵理)

お悔やみ申し上げます

当町との姉妹都市提携に尽力された、ジョン・パートレット氏(元ポートステイブンス市長)が、2008年2月8日にお亡くなりになりました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。